

軍事極秘

自昭和十七年五月一日
至昭和十七年五月三十一日

陣中日誌 第七號

歩兵第十聯隊第七中隊

20507

0403

月
日

勤
務

五月一日 金曜日 晴 於クアラビラー

一、十隊ハ「ジュアセ」方面ノ土民ノ動靜搜索ノタメ
大杉少尉以下十名赴カシム 十三時異常ナク
歸隊ス 在民ノ動靜異常ナク平穩ナリ

二、中塚軍曹以下八名ヲ以テ「ウルバセ」方面ノ馬來
人ノ動靜ヲ搜索セシムルニ異常ヲ認めズ十四
時三十分無事歸隊ス

三、本日中隊長ハ警備連絡並ニ實彈射撃指導
ノタメ十時出發「バハ山」ニ赴ク
任務終了シ十六時三十分歸隊ス

四、十八時ヨリ日直下士官ヲシテ体操假標刺突ヲ
行實於セシム

五、本日ノ勤務員左ノ如シ

巡察下士官 菊原軍曹

陸軍

0404



現在
月日

一 十時ヨリ十三時三十分迄不動ノ姿勢ヲ敬禮 演習ヲ實施セシム 中隊長以下十五名出場 之シ振リノ各個教練ナレドモ全員元氣旺盛ニ シテ愉快ナリキ	五月二日	土曜日	晴後雨	於クアラビラー	六 二 名	第一分哨	日直上等兵	高橋上等兵	桂伍長
						第二分哨	日直下士官	藤崎伍長	
						第三分哨	以倉本伍長	以佐々木上等兵	以下五名
							以下五名		

細谷典・京東

0405

勤務	二午後八日直下士官ヲシテ完全ナル兵器被服ノ手入ヲナシタル後假標刺突ヲ實施セシム	本日ノ勤務員左ノ如シ	巡察將校	大杉	少尉
			日直下士官	小田	兵長
			日直上等兵	林上	等兵
		第一分哨	竹下	伍長	伍長
		第二分哨	高橋下	伍長	伍長
		第三分哨	寺本	伍長	伍長
命令	四	宮作命第七號	第二大隊命令	五月二日一八二〇	

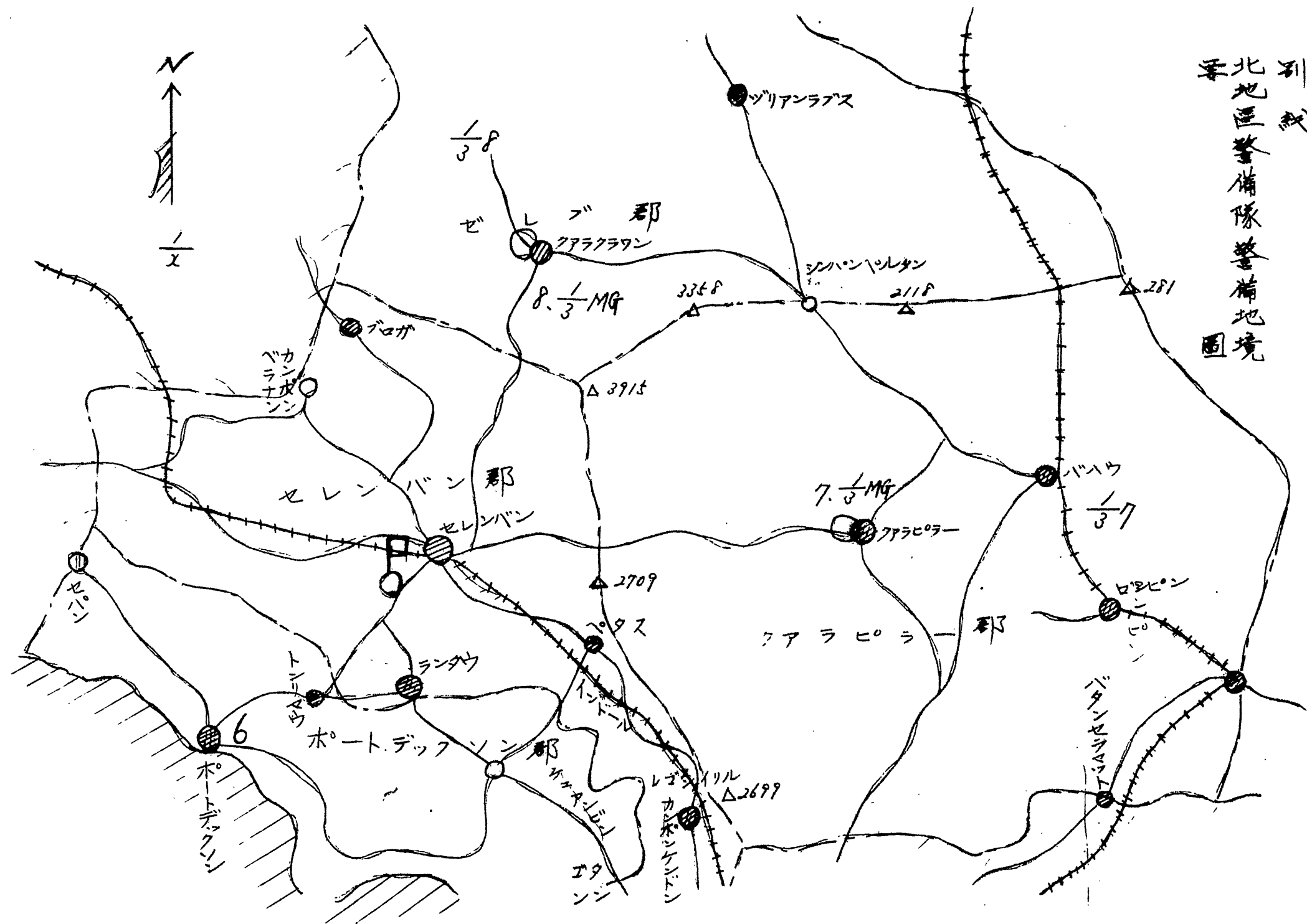
陸軍

0406

	<p>一 北地區警備隊ハ警備地域ノ一部ヲ變更セントス 二 各警備隊ハ別款要圖ニ基キ各擔任地域ノ 警備肅清治安搜索ニ任スベシ 第二大隊長 宮崎 大尉</p>
<p>兵動五</p>	<p>下達法 印刷交付 陸軍上等兵 唐崎 理一郎</p>
<p>現在員六</p>	<p>八〇名 診断ノ結果第四野戰病院ニ入院ス 馬來作戰以前ノ入院者ニシテ吳淞殘留中ノ 加谷英一以下十九名本日中隊復歸ス</p>
<p>月日</p>	<p>五月三日 日曜日 晴 於 クアラピラー</p>
<p>警禮演習ヲ行フ</p>	<p>二十時ヨリ十三時三十分迄各個教練 不動ノ姿勢</p>
<p>教官 郷 靖 曹 長</p>	

(約谷廳・京東)

0407



北 列
北 地 區 警 備 隊 警 備 地 境 圖

0408

陸軍

全員元氣發利トシテ氣持ヨシ

ニ十七時ヨリ日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實

施セシム

三「ハハウ」警備隊ニ警備連絡ノタメ菊原軍曹

以下三名ヲ出張セシム 二十時無事任務終了

歸隊ス 警備異状ナシ

勤務 四本日ノ勤務員左ノ如シ

巡察下士官 中塚軍曹

日直下士官 藤崎伍長

日直上等兵 藤岡上等兵

第一分哨 加藤上等兵

以下五名

第二分哨 山本伍長

以下五名

0409



勤務	三、本日ノ勤務員左ノ如シ	二、午後日直下士官ヲシテ約一時間射撃姿勢迄 一、假標刺突ヲ實施セシム	演習人員 十九名	教 官 郷 端 普 長	二、橋銃立銃ヲ實施セシム	一、十時ヨリ十三時半マデ各個教練射撃姿勢迄	五月四日 月曜日 晴 於 クアラビラー	現在員六、 七、四名	吳 勤 五 本日退院者(吳滋茂留者ニシテ昨日中隊復帰セル者)出雲上等兵以下六名第一小隊配屬トナリハハウレ警備隊ニ出發ス	第三分哨 打 坂 伍 長 以 下 五 名
----	--------------	---------------------------------------	----------	-------------	--------------	-----------------------	---------------------	---------------	--	----------------------------

(新谷 東京)

0410



現在頁五	會報一	南警備隊會報	第三分哨	第二分哨	第一分哨	日直上等兵	日直下士官	巡樂下士官
七	及聞スルニ兵ニシテ今尚民衆ニ無断五子入リ為一土民ノ恐怖心ヲ惹起セシムルモノアリト嚴ニ監督指導セラレ度	五月四日一六 セムバン警備隊本部	以下五名	以下五名	以下五名	桂 伍 長	藤 岡 上 等 兵	藤 崎 伍 長
四	名		佐々木上等兵	高橋伍長				塚 軍 曹

陸軍

0411

勤務	月日
<p>二本日ノ勤務員左ノ如シ</p> <p>巡察下士官 中塚 軍曹</p> <p>日直下士官 藤崎 伍長</p> <p>日直上等兵 藤岡 上等兵</p> <p>第一分哨 倉本 伍長</p> <p>第二分哨 山下 伍長</p> <p>山本 兵長</p>	<p>五月五日 火曜日 晴 於クアラピラー</p> <p>一中隊ハ大杉少尉ノ指揮スル四十五名ヲシテ九時三十分出發「バハウ」警備隊橋本少尉以下二十名ト連絡シ「ロビン」ニ向ヒ長府方面ノ敵情ヲ搜索セシメルモ情況不明ニシテ二十時三十分無事歸隊ス</p> <p>目下密偵ヲ派シ敵情搜索中ナリ</p>

(記. 谷鹿. 京東)

0412

	第三分哨	以下五名
命令三	步兵第十一聯隊日日命令	以下五名
一	步兵四一附 陸軍少尉	大田 巧
現在員	當分ノ間頭書ノ中隊ニ於テ勤務スベシ	四名
月日	五月六日 水曜日	晴 於クアラピラー
	一 午前中昨日ノ掃蕩ノ結果完全ナル兵器被服ノ手入ヲ實施セシム	
	二 本日中隊ハ「コレラ」症ニ種痘注射ヲ實施ス	
	「バハウ」警備隊ハ午前中「アラピラー」警備隊ハ	
	十三時ヨリ夫々實施 全員異常ナク終了ス	
	三 爾後身邊整理ヲナシタル後全員休養セシム	

陸軍

0413

勤務	現在員	月日																	
四本日の勤務員左ノ如シ	五 × 四 名	五月七日 木曜日 晴	於 クアラピラー	郷 端 普 長	二 張 軍 普	加 藤 上 等 兵	竹 内 伍 長	以 下 五 名	打 坂 伍 長	以 下 五 名	寺 本 兵 長	以 下 五 名	第三分哨	第二分哨	第一分哨	日直下士官	日直上等兵	巡察將校	二十時ヨリ十三時迄中塚軍普指揮ノ下ニ各個 教練射撃姿勢迄ニ檐銃之銃ヲ實施セシム

(料谷史・京紙)

0414

陸軍

勤務	二午後勤務ニ支障ナク全員特別出ヲ許可ス 本出者二十一名 全員異常ナク歸隊ス 三十八時ヨリ軍歌演習ヲ實施ス 四本日ノ勤務員左ノ如シ	演習人員 中塚軍曹以下二十七名
巡察將校	日直下士官	郷端 軍曹長
日直上等兵	加藤上等兵	二 坂 軍曹
第一分哨	佐々木上等兵	佐々木上等兵
第二分哨	以下五名	以下五名
第三分哨	平岡二等兵	平岡二等兵
	以下五名	以下五名
	桂 伍長	桂 伍長
	以下五名	以下五名

0415

現在頁	月日	勤務
五	五月八日	本日ノ勤務員左ノ如シ
〃	金曜日	巡察將校
〃	晴	郷端曹長
〃	於クアラピラー	二張軍曹
〃	一十時ヨリ十三時迄	日直下士官
〃	中隊配属機關銃ノ實包射撃	日直上等兵
〃	撃ヲ「アラピラー」射撃場ニ於テ實施ス	加藤上等兵
〃	教官	藤崎伍長
〃	大杉少尉	第一分哨
〃	二午後勤務下番者ノ特別外出ヲ許可ス	
〃	外出者十一名全員異常ナク歸隊ス	
〃	三五月五日附歩兵第十一聯隊日々命令ニヨリ本日	
〃	大田少尉中隊勤務トナル	

(總行處・東京)

0416

陸軍

第二分哨

以下五名

山本兵長

以下五名

第三分哨

加谷兵長

以下五名

會報

南警備隊會報

五月八日一八〇〇
セムバン警備隊本部

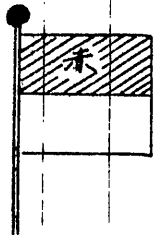
一、交通列車便乗ノ際ハ軍人軍屬専用車トシテ
設走標識シアル同車以外ニ乗車セザル如ク

注意相成度

一、軍隷下部隊下士官以下ニシテ軍司令官ノ對シ
停止敬禮セザル者アリ軍司令官ノ乗用車ニ
ハ左圖ノ如キ標旗樹立シアルヲ以テ特ニ徹底
セシメラレ度

0417

異動	陸軍少尉 大田 巧 中隊ニ於テ勤務トナル 陸軍一等兵 平川 春三 同 北川 行三
現在員	七 三名 診断ノ結果第四野戦病院ニ入院ス
月日	五月九日 土曜日 晴 於クアラピラー
	一、十時全員整列新任大田少尉ノ挨拶ヲ受ク 二、本日中隊配属機關銃交代服務スルヲ以テ 大杉少尉以下十八名ト交リ山口少尉以下十八名 來リ配属勤務ヲ交代ス



(約谷典・京葉)

0418



月 日	現在 員	勤務
五月十日	× 三名	三十八時ヨリ日直下士官ヲシテ休操假操刺突ヲ 實施セシム
日曜日		四本日、勤務員左ノ如シ
晴		巡察將校
於		山
クアラピラー		山口少尉
		日直下士官
		富永軍曹
		日直上等兵
		佐々木上等兵
		第一分哨
		倉本伍長
		以
		竹下伍長
		以
		打坂伍長
		以
		以下五名

陸軍

0419

<p>一、中隊八十時ヨリ配属軍醫ヲシテ勤務者ヲ除ク</p>	<p>全員「ベスト」豫防注射ヲ實施セシム</p>	<p>二十五時ヨリ「バハウ」警備隊ノ「ベスト」豫防注射ヲ</p>	<p>實施ノタメ配属軍醫ヲ赴カシム十七時任務</p>	<p>終了歸隊ス</p>	<p>三午後八時自身邊整理ヲナシタル後全員休養</p>	<p>セシム</p>	<p>勤務 四、本日ノ勤務員左ノ如シ</p>	<p>巡察將校</p>	<p>日直下士官</p>	<p>日直上等兵</p>	<p>第一分哨</p>	<p>第二分哨</p>	<p>竹内伍長</p>	<p>山本 少尉</p>	<p>佐々木 上等兵</p>	<p>佐々木 上等兵</p>	<p>加藤 上等兵</p>	<p>以下五名</p>
-------------------------------	--------------------------	----------------------------------	----------------------------	--------------	-----------------------------	------------	----------------------------	-------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	--------------	----------------	----------------	---------------	-------------

(約谷 義・京 班)

0420

勤務	現在頁 月日	五 × 三 名	第三分哨	以下 五 名 藤崎伍長
四本日ノ勤務頁左ノ如シ	五月十一日 月曜日 晴 於クアラピラー			
二十時三十分 異常ナク 歸隊ス	ニ午後ニ張軍曹指揮ノ下ニ完全ナル自轉車	ノ整備並ニ標示ヲ實施セシム	三十七時ヨリ日直下士官ヲシテ休操ヲ實施セシ	メ十九時ヨリニ張軍曹以下三十名 映画見物
ヲ許可ス	セシム	ニ午後ニ張軍曹指揮ノ下ニ完全ナル自轉車	ノ整備並ニ標示ヲ實施セシム	三十七時ヨリ日直下士官ヲシテ休操ヲ實施セシ

陸軍

0421

	巡察將校	山口少尉
日直下士官	富永軍曹	青
日直上等兵	佐々木上等兵	兵
第一分哨	桂伍長	長
第二分哨	以下五名	名
第三分哨	山本兵長	長
渡利上等兵	以下五名	名
以下五名	以下五名	名
命令	步兵第十一聯隊日日命令	五月十一日一大〇〇
一、兵團内地運送遺骨	ハ五月二十日迄ニ汽車	送セラル
行ニ依リ昭南市本願寺遺骨安置所へ輸	送セラル	部隊ハ五月十八日戦死者ノ英靈ニ對シ告別
送セラル	部隊ハ五月十八日戦死者ノ英靈ニ對シ告別	セレムハ一部隊本部

(東京・史谷)

0422

式ヲ舉行セントスル後遺骨還送ヲ實施ス
依テ左記ノ通り心得ベシ

左記

告別式

1. 日時 五月十八日九時

2. 場所 セレンバン第二大隊講堂

3. 参列者 在「セレンバン」部隊ハ勤務ニ支障ナヤ

將校以下全員

隔地部隊ヨリハ關係中隊ヲ代表者一

4. 服装 徒手帶劍(刀)巻脚絆略綬佩用トス

5. 隊形 式場ニ於テ指示ス

6. 第二大隊長ハ告別式場、遺骨安置所ノ準

備並告別式監視兵出發迄、監視哨ヲ配

置スベシ

0423



現在員	六 × 三 名	<p>ク關係各隊ハ五月十八日八時二十分迄ニ遺骨(遺留品共)ヲ告別式場ニ護送シ聯隊副官ノ指示ニ依リ安置スベシ</p> <p>遺骨見送り</p> <p>1. 日時 五月十八日十一時十分「セラムバン」驛發</p> <p>2. 場所 各隊ハ式終了後第二大隊表町ヲ先頭トシ建制順序ニ北面ノ二列横隊ニ集合シ見送り代表者(將校全員下士官一兵一)ハ驛構内ニ於テ見送ヲナスモノトス</p> <p>3. 聯隊自動車班長ハ五月十八日十時迄ニ自動車第一ヲ第二大隊遺骨(遺留品共)ノ輸送ニ任ズベシ</p>
-----	------------------	---

(和谷義・京東)

0424

陸軍

月	日	勤務	勤務
五月	十二日	火曜日	晴
		於クアラビラー	
		一、山口少尉以下十名「タンギ」方面土民ノ動靜ヲ	
		査査ニ重軍威武宣揚ノタメ八時五十分出發十三	
		時三十分全員異常ナク歸隊ス	
		二、大田少尉以下十五名「タンジヨニイホ」方面ニ南濱行	
		軍實施ノタメ九時出發十四時異常ナク歸隊ス	
		両方面土民ノ動靜異常ナシ	
		三、十八時ヨリ日直下士官ヲシテ体操志氣鼓舞ノタ	
		メ軍歌演習ヲ實施セシム	
		四、本日ノ勤務員左ノ如シ	
		巡察下士官	中塚 軍曹
		日直下士官	菊原 軍曹
		日直上等兵	原上等兵
		第一分哨	竹内 伍長

0425

陸軍

アリタルニ付承知相成度

左記

本回第八回総會ニテ謹ミテ將夫吾位ノ御勞苦ヲ感謝シ御武運ノ長クヲ祈リ奉ル

一本次馬來作戰ニ於テ科學知識不足ニ基キ兵器取扱上現レシ缺陷ノ實例ニ就テ別冊寫配布スルニ付將來ノ參考トセラレ度

異動六 陸軍一等兵 木葉千代太

第四野戰病院入院中本日本隊復歸ス

現在員七名

月日 本月十二日 水曜日 晴 於クアラビラー

一本日ハ休務日ナルヲ以テ午前中班外ノ清潔整頓並ニ兵器被服ノ手入れヲナシタル後勤務ニ支障

0427

勤務 二本日ノ勤務員左ノ如シ	施セシム	二十六時ヨリ全員假標ノ利突迄ニ軍歌演習ヲ實	全員異常ナク歸隊ス	ナキ全員外出ヲ許可ス	外出者二十三名十八時
巡察下士官	日直下士官	日直上等兵	第一分哨	第二分哨	第三分哨
中塚軍曹	菊原軍曹	原上等兵	桂伍長	以下五等兵	渡利上等兵
以打	以打	以打	以打	以打	以打
下五	下五	下五	下五	下五	下五
名	名	名	名	名	名

(伊谷農・京取)

0428

現在員	月日	勤務
四	五月十四日	三本日ノ勤務員左ノ如シ
×	水曜日	巡察下士官
四	晴	中塚軍曹
	於	日直下士官
	クアラヒラ	菊原軍曹
	一	日直上等兵
		原上等兵
		夫
		二十時ヨリ竹内伍長以下十八名銃剣術註ニ休
		操ヲ實施セシム
		二十三時ヨリ勤務員ヲ除ク全員赤痢ノ豫防注
		射ヲ實施セシム
		三十四時ヨリ勤務下番者ノ外出ヲ許可ス
		外出人員十八名十八時全員異常ナク歸隊ス
		四本日吳滋出發以來待望ノ手紙並ニ慰問品ヲ受領
		シ全員喜ビニ溢レ一日ヲ送ル

陸軍

0429

月	現在頁	會報	第一分哨	第二分哨	第一分哨	第二分哨
日	×	六	加谷夫長	佐々木上等兵	藤崎伍長	以下五名
五月十五日	×	最近軍人軍属等ニシテ慰安所等ノ往復 一自動車ヲ使用スル者極メテ多シ「ガンリン」 節約上絶無ナラシムルヲ要ス	以下五名	以下五名	以下五名	以下五名
金曜日	×	昭五 五月十四日一六 南	於	於	於	於
晴	×	於	於	於	於	於
於	×	於	於	於	於	於
クアラピラー	×	於	於	於	於	於
一「タンゴヨイホー」ニ於テ馬來人ト支那人トノ紛争	×	於	於	於	於	於
アルヲ聞マタル警備隊ハ九時打坂伍長以下	×	於	於	於	於	於

(新谷良・京東)

0430

六名ヲ派シ其ノ關係者ニ名ヲ連行取調ヲ實施ス	六	二十時ヨリ中塚軍曹以下十九名對空射撃演習ニ	對空疎開演習ヲ實施セシム	二本日郷端普長以下三名ヲシテ「ハハウ」警備隊トシテ	連絡ヲ實施セシム十五時三十分異常ナク歸隊ス	四本日勤務下番者ノ外出ヲ許可ス	外出人員六名異常ナク歸隊ス	勤務五本日ノ勤務員左ノ如シ	巡察將校 郷端普長	日直下士官 小田兵長	日直上等兵 渡利上等兵	第一分哨 竹内伍長	以下五名
-----------------------	---	-----------------------	--------------	---------------------------	-----------------------	-----------------	---------------	---------------	-----------	------------	-------------	-----------	------



命	令	六	第一分哨	北條伍長	以下五名	以山本兵長	以下五名	步兵第十一聯隊日々命令	五月十五日一六〇〇 セムハン部隊本部	松井太一郎	第五師團長陸軍中將	補支那派遣軍總司令部附	第七砲兵司令官陸軍中將	山本務	補第五師團長	(昭和一七、三、二附)	現在頁	七	七	四	名	月	日	五月十六日	土曜日	晴	於クアラピラー	一中隊八十時ヨリ十二時十分迄中隊軍普以下二十	三名對空疎開並ニ對空射撃ヲ演練ス	二十三時ヨリ勤務者ヲ除ク全員兒玉軍醫ヲシ
---	---	---	------	------	------	-------	------	-------------	-----------------------	-------	-----------	-------------	-------------	-----	--------	-------------	-----	---	---	---	---	---	---	-------	-----	---	---------	------------------------	------------------	----------------------

(東京・奥谷)

0432

陸軍

<p>ヲ赤痢豫防注射ヲ實施ス 終了後ハハウレ警 備隊ニ出張セシメ全員實施セシム</p>	<p>三 豫防注射後各人ノ身邊整理迄ニ矢吞被服ノ 予入ヲナシタル後休養セシム</p>	<p>勤務 四 本日ノ勤務員左ノ如シ</p>	<p>巡察下士官 郷 端 曹 長</p>	<p>日直下士官 小 田 兵 長</p>	<p>日直上等兵 渡 利 上 等 兵</p>	<p>第一分哨 平 岡 上 等 兵</p>	<p>第二分哨 桂 伍 長</p>	<p>第三分哨 倉 下 伍 長</p>	<p>以 下 伍 長</p>	<p>以 下 伍 長</p>	<p>以 下 伍 長</p>
---	--	------------------------	----------------------	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------	---------------------	----------------	----------------	----------------

0433



命令	現在頁	月日
歩兵第十聯隊日々命令 <small>五月十六日一六〇〇 セレムバン部隊本部</small> 一、昭和十六年三月二十二日 陸軍一等兵 永地保 二月九日同 池上福松 陸軍一等兵ヲ命ジ同日陸軍兵長ヲ命ズ (頭書ノ日附)	六	五月十七日 日曜日 晴於クアラビラー
	七	二十時ヨリ十三時迄 高橋伍長以下二十名兵營東 北側ニテ 戦闘各個教練ヲ實施セシム
		二十三時三十分 菊原軍曹ヲシテ連絡班ニ兵營修理 ヲ提出ノ為 警備隊本部ニ出張セシム
		二十一時任務ヲ了ヘ無事歸隊ス
		二十二時突然命令來リ中隊勤務中ノ大田少尉 明日四十一聯隊迄及ニ決定シ二十三時三十分出發ス

(新谷島・東京)

0434

陸軍

勤務	本日ノ警備異常ナシ	本日ノ勤務員左ノ如シ	巡察將校	日直下士官	日直上等兵	第一分哨	第二分哨	第三分哨	命令	
	郷端普長	小田兵長	渡利上等兵	佐々木上等兵	以下五名	加谷兵長	以下五名	打坂伍長	以下五名	步兵第十一聯隊日々命令
									五月十七日一三〇	セレムバン部隊本部
									一、步兵第四上聯隊補充將校兼同隊所屬ノ退院者	八明後十九日早朝昭南島發ッアラリカレ丸ニ依リ

0435

部隊主力ニ追及セシメラル	昭南市旋治場司令部ニ到リ連絡ノ上部隊主力ニ追及スベシ	之ガ爲聯隊自動車班長ハ明十八日六時迄ニ自動車ニ乗車ニテ第一大隊本部前ニ差出シ前項輸送ニ任ズベシ	現在頁六	五月十八日	月曜日	晴	於クアラピラー	二十時ヨリ「セラムバン」警備隊本部前原軍醫末リ月例身体検査並ニ四種混合豫防注射ヲ實施シタル後中隊全員ヲ集メ衛生講和ヲ實施スニ午後ヨリ「ハハウ」警備隊ヲモ同様注射ヲ實施セシム同警備隊ニハ附近印度人間ニ天然
--------------	----------------------------	---	------	-------	-----	---	---------	---

(東京・谷津)

0436

陸軍

痘患者發生セルヲ以テ完全ナル消毒ヲ實施セシム

三午後ハ全員休養セシム

勤務 四本日、勤務員左ノ如シ

巡察下士官 二張軍曹

日直下士官 竹内伍長

日直上等兵 佐原上等兵

第一分哨 高橋伍長

第二分哨 山下伍長

第三分哨 山本伍長

以下 藤崎伍長

以下 五名

以下 五名

命令 五 歩兵第一聯隊日々命令 五月十八日一六〇〇
セラムバン部隊本部

0437

一、昭和十七年五月十四日發令	步兵第十聯隊長 陸軍大佐 渡邊綱考	補留守第五師團司令部附	獨立混成第十八旅團參謀 陸軍大佐 高橋 辨	補步兵第十聯隊長	命令六	一、 <small>五月十八日一七〇〇 セムハン部隊本部</small> 「ネグリセンピラン」州「ハハウ」居住ノ印度人一名	<small>(男四〇才)</small> 五月十四日發病 五月十七日瘡瘡ト	決定ス患者ハ自死ニ隔離中ナリ	依テ隊内病毒蔓延ヲ防止ノ為第二大隊長ハ	「ハハウ」警備隊ニ對シ所要ノ防疫ヲ實施ス	スベシ	一、「ハハウ」附近ニ於テ行フ演習ハ當分ノ間之	ヲ禁止ス
----------------	-------------------	-------------	-----------------------	----------	-----	---	--	----------------	---------------------	----------------------	-----	------------------------	------

(新谷 東京)

0438

陸軍

現在員	月日	勤務
三 名	五月十九日 火曜日	四木日、勤務員左、如シ
	晴	巡察 下士官 二張 菅
	於クアラピラー	日直 下士官 竹 外 伍 長
	一十時ヨリ昨十八日、事故者及勤務者ニ對シ四種	日直 上等兵 住 原 上 等 兵 長
	混合隊防注射ヲ實施ス	第一分哨 北 條 伍 長
	二午前中完全ナル兵器被服、予入ヲ實施セシム	以 下 伍 長
	三年後十七時ヨリ日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ	第二分哨 倉 本 伍 長
	實施セシム	

0439

命 令 五	一 經 度 第 四 號 二 様 ル 經 理 檢 査 ハ 五 月 十 三 日 左 ノ 豫 定 ヲ 以 テ 實 施 セ ラ ル 概 テ 左 記 ノ 通 リ 心 得 ベ シ	歩 兵 第 十 聯 隊 日 々 命 令	以 桂 以	下 伍 五 名	下 伍 五 名	受 檢 査 分 隊 本 部	第 二 大 隊	金 櫃 檢 査	一 〇 八 三 〇 一 〇 八 五 〇	一 三 〇 〇 一 三 二 〇	書 類 檢 査	〇 八 五 〇 一 一 〇 〇	一 三 二 〇 一 六 〇 〇	現 在 檢 査 及 以 外 視 察	一 一 〇 〇 一 一 二 〇 〇	一 六 〇 〇 一 七 〇 〇	所 見 用 陳	一 七 〇 〇 一 一 七 〇 〇
						但 シ 時 間 ノ 都 合 ニ 依 リ 多 少 差 更 ス ル コ ト ア リ	書 類 檢 査 場 ハ 聯 隊 本 部 經 理 室 ト ス											

(東京・奥谷)

0440

做テ第二大隊ハ所定書類其ノ他テ一二三〇
迄ニ同所ニ持参シ置クモノトス

二現品検査及金内逃視箇所ハ聯隊砲中隊及

第五中隊ト規定スルニ検査官ノ指示ニ依

リ変更スル場合マルニ付各隊ハ何時ニテ

モ受檢シ得ル如ク準備シ置クモノトス

三逃視ノ際各中隊ノ下士官兵ハ班内一整理

シ服装及金内装置ハ平常ノ通りトス

四書類検査時間中ハ經理業務擔當者(各隊

分任官被服物品掛ヲ含ム)全員主會スルモノ

トス

五所見開陳ハ検査場トシ勤務ニ支障ナク全員

主會スルモノトス

南警備隊會報

五月十九日 一六〇
七レムハン部隊本部

會報六

0441



<p>一、來ル二十三日ヨリ「ネグリセンビラン」州以警察官各 擔任地區以ヲ巡察スルニ付承知セラレ度</p>	<p>各警備隊長ハ必要ニ應ジ當局ト連絡指導サセ ラレ度</p>	<p>一、部隊ニ於テ主要戦闘ノ状況ヲ繪画化シタス 計画アリ各隊將兵中ニ油繪ノ経験者アラハ 五月末日迄ニ通報セラレ度</p>	<p>現在員 日 員 三名</p>	<p>五月二十日 水曜日 晴 於クアラピラー 一、午前中ニ張軍曹指揮、下ニ完全ナル自轉車 ノ守入ヲ實施セシム</p>	<p>十二時ヨリ同軍曹ヲシテ自轉車ノ検査ヲ實施 セシムルニ大体ニ於テ良好ナリ</p>	<p>二、本日ハ休務日ナルヲ以テ午後特別外出ヲ許可</p>
---	--	---	----------------------------	--	---	-------------------------------

(紀谷史・東京)

0442

陸軍

勤務	又、外出者十九名、十八時全員異常ナク歸隊ス 三本日ノ勤務員左ノ如シ
	逃察下士官 二張 軍曹
	日直下士官 竹 伍長
	日直上等兵 住原上等兵
	第一分哨 打坂伍長
	第二分哨 以 下 伍長
	佐々木上等兵
	第三分哨 以 下 伍長
	加谷伍長
	以 下 伍名
會報	南警備隊會報 五月二十日一頁 七レハバン警備隊本部
	一、軍紀風紀ニ就テ 外出先ニ於ケル状態ハ一般ニ良好ナルモ酒

0443

月 日	五月二十一日 木曜日 晴後雨 於クアラピラー
現在頁	七三 名
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五
會 報	五

(東京・東谷)

0444

陸軍

一十時ヨリ十三時迄舎前廣場ニ於テ打坂伍長
以下十五名對空對戰車攻擊並ニ各個教練ヲ
實施ス

二午後八完全ナル兵器被服ノ手入ヲナシタル後十六
時ヨリ百直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實施セシム

勤務
三本日ノ勤務員左ノ如シ

巡察將校 山口少尉

日直下士官 高橋伍長

日直上等兵 伊藤上等兵

第一分哨 藤崎伍長

以下五名

第二分哨 渡利上等兵

以下五名

第三分哨 山本兵長

0445



勤務	三本日ノ勤務員左ノ如シ	休息セシム	二午後ハ兵隊被服ノ完全ナル手入ヲナシタル後	盛ナリ	準備ヲ演練セシム 炎熱ニモ負ケズ元氣旺	側廣場ニテ分隊戦闘教練並ニ陣内戦突撃ヲ	一十時ヨリ十三時迄中塚軍曹以下三千八百名兵隊西	五月二十二日 金曜日 晴 於カアラビラー	現在頁	五	メ	ハ	名	診断ノ結果入院ス	同	同	陸軍上等兵	一等兵	加藤 守人	以下五名
----	-------------	-------	-----------------------	-----	---------------------	---------------------	-------------------------	----------------------	-----	---	---	---	---	----------	---	---	-------	-----	-------	------

(約谷良・京東)

0446

勤	秀	以	案	將	校	山	口	少	尉	陸 軍
日	直	下	士	官	高	橋	伍	長		
日	直	上	等	兵	伊	藤	上	等	兵	
第	一	分	哨		桂			伍	長	
第	二	分	哨		以	下		伍	長	
第	三	分	哨		北	條		伍	長	
以					以	下		伍	長	
高	警	日	命	第	三	九	號			
南	警	備	隊	日	々	命	令			
昭和十七年四月二十日	南	警	備	隊	本	部	セ	レ	ム	バ
駐	留	規	定	中	一	二				
正	ス									

0447

附表第二

休務日日割表

曜日 休務部 隊

水 (7)

備考 一本表ノ如ク定ムルモ前清工作其他ノ關係ニ依リ各隊
ニ於テ復我協定ノ中東ニシテモ
此ノ場合ニ於テハ速カニ警備隊本部ニ報告スルモトス

會報 三

南警備隊會報

五月二十二日一六〇〇
セレムハン警備隊本部

- 一 兩今軍人軍属ノダンスホールヘノ出入ハ嚴禁ス
- 二 外出ノ際ハ特ニ服装ニ注意シ若モ陸軍改制
ヲ素ルガ如キハ嚴ニ注意セラレ度

現在頁 六 七〇 名

月 日 五月二十三日 土曜日 晴後雨 於クアラピラー

一本日ハ中隊衛生日ナルヲ以テ午前中班内ノ清潔
整頓ヲナシタル後十五時ヨリ内務検査ヲ實施

(納谷典・京東)

0448

陸軍

セシム 短時間ニ於ケル整理ニモ拘ラス一般ニ	良好ナレドモ未ダ細部ノ點ニ於テ完全ナラズ	日常ノ注意必要ナル旨訓示ス	ニ中隊長ハ九時本日師團經理検査實施スラルルヲ以	テ「セレンバン」本部ニ出張十九時検査終了シ歸	隊ス 検査異常ナシ	二十六時ヨリ日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實	施セシム	勤務一本日ノ勤務員左ノ如シ	巡察將校	日直下士官	日直上等兵	第一分哨	
									山口少尉	高橋伍長	伊藤上等兵	佐々木上等兵	以下五名

0449

勤務	本日ノ勤務員左ノ如シ	現在員五	名	五月二十四日	日曜日	晴	於	クアラピラー	打	坂	伍	長
	三十一時ヨリ日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實施セシム	二十時ヨリ十二時迄	打坂伍長以下二十三名	体操銃	剣術ヲ實施セシム	二	中隊長八十時	警備班ノ事務連絡ノタメハハム	警備隊ニ赴キ	十四時	歸隊ス	
	四	日本ノ勤務員左ノ如シ	巡察下士官	富永	年	曹			竹	内	伍	長
									以	下	五	名
									以	下	五	名

(納谷典・京東)

0450

日直下士官	山本 兵 長	陸軍
日直上等兵	高原 上等 兵	
第一分哨	加谷 兵 長	
第二分哨	以下 五 名	
第三分哨	藤崎 伍 長	
第四分哨	以下 五 名	
第五分哨	渡利 上等 兵	
以下 五 名	以下 五 名	
現在員五	× × × × ×	
月 日	五月二十五日 月曜日 晴後雨 於クアラピラー	
二十時ヨリ十三時迄	中塚重普以下二十九名 營庭	
一ツ分隊戦闘教練	運動射撃、連繫、演練々々	
シム		
二十三時ヨリ勤務ニ支障ナキ全員外出ヲ許可ス		

0451

勤務	三十八時ヨリ志氣昂揚ノ夕ノ軍歌演習ヲ實施ス	外出者十五名 十八時全員異常ナク歸隊ス
四本日・勤務員左ノ如シ		
巡察下士官	富永 軍曹	
日直下士官	山本 兵長	
日直上等兵	高原 上等兵	
第一分哨	倉本 伍長	
第二分哨	以 下 伍長	
第三分哨	以 北 條 伍長	
以 下 伍名		
命令之	高警日命第四〇號	
南警備隊日々命令	五月二十五日一六〇部	

(納谷 典・京東)

0452